

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー

宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	2人	1人	11人

前回の改善計画

- ・情報の統一化・共有を図る為、利用前後に話し合いの機会を設ける。
- ・24時間シート等のセンター方式を活用し、情報を共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・24時間シート等活用し情報の共有に努めたが、振り返りやカンファレンスが十分にできず支援に活かすことが難しかった。
- ・説明や情報の伝達が書面のみになってしまったり、一回に大人数の集まる事が難しく話し合えない事があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	4	3	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	9	1	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	8	1	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	6	3	1	11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・新たに利用が決まった時には24時間シート等を利用して各職員が集めた情報（気持ちや行動心理）を一つにまとめて全体で共有できている。
- ・日中・夜間の間での申し送りでの共有は出来ていると思う。
- ・フェースシートを確認しての情報を得る事。
- ・個人別申し送りを利用して変更したい事共有しないといけない事は記入している。
- ・職員会等で情報を伝えている。
- ・受けた情報はPCに入力したり全体に申し送れるようにしている。
- ・利用開始時はホーム内の説明や、ご本人の話を傾聴する用心掛けている。
- ・家族への関係づくりの連絡などはよくできていたのではないかな。
- ・カンファレンスシートの情報など活用できている。
- ・職員間での報告・連絡・相談がしっかりできるように努めている。
- ・職員間で情報を共有できるよう連絡ノート等を活用して伝達できている。
- ・利用者様が慣れていない時には声掛けに十分配慮している。気遣いもできている

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用前での情報・ニーズの共有ができていない。把握が不十分。
- ・分からない。（どう関わっていくのか）を事前に聞けていない事。
- ・24時間シートを書くだけで振り返りやカンファレンスが出来ておらず、支援に活かすこと。
- ・ひもときシートの活用
- ・説明・情報伝達が書面のみになってしまい、話し合えていない職員もいる。
- ・利用者様と家族の必要とされている支援が一致していない時、家族の希望が優先されてしまう事があったのではないかな。
- ・利用者様への対応がどうしても職員ペースでの対応となってしまう。
- ・家族と直接会う機会も少ない為、話すことができず関りが十分にできなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・継続して24時間シート等センター方式を活用し情報を共有していく。
- ・利用開始後記入している24時間シートを1日ごとに分析・まとめそれを基に朝の申し送り時、職員会等の職員が集まる機会にカンファレンスを行い情報の伝達・共有を行うように

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	1 人	1 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス、継続して行っていく。内容を継続できるように各職員が自覚を持つ。 ・モニタリング様式の見直しを行い、プランに反映できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングをプランに反映できている。必要なら見直しや付け加えを行っている。 ・継続してカンファレンスは行えているが、同じような職員での話し合いになってしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール) がわかっていますか?	0	8	2	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	1	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	3	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	2	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングにケアマネが目を通し必要なら見直しや付け加えをしている。 ・日々の関りについてはケアプランや利用者様の要望を把握し支援している。 ・カンファレンスで決定したことについては意識し実行している。 ・職員会で対象としたい利用者を決めカンファレンスを行えている。 ・モニタリングをプランに反映できるようにしている。 ・プランを生活記録に挟み常時確認できるようにしている。変更点はマーカーで印をつけたり申し送るなどして周知に努めている。 ・できる事を長く継続できる様に声掛けなどで取り組んでいる。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・参加できない職員がおりそろわない為ミーティングでの発言は少ない。 ・自分の担当の利用者様については把握しているが、全員については把握しきれていない現状があり、日々の流れの中でのサービス提供をしてしまっているところがある。 ・職員自身の力不足もあり利用者様のしたい事につなげてあげれていない事がある。 ・利用者様の目標に関した関りが毎日となるとできていない。 ・職員会など人数が集まらない事が多く同じ職員による話し合いになってしまっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、プランをもとにカンファレンスを行っていき、本人様の目標の為の支援についても話せる機会を作る。 ・カンファレンスの内容を継続できるようにカンファレンス後 3 日間は申し送るようにしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

3. 日常生活の支援

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	4 人	0 人	11 人

前回の改善計画
・個別申し送りファイルを各々が確認して行くよう声をかけていく。 ・介護状況一覧表は変化があった際、ケアマネが記入するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・介護状況一覧表は変化があった際、追加・更新できている。 ・声掛けがなかなか出来ておらず個別申し送りの確認が出来ていない時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	6	4	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	3	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	1	1	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	2	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個別ファイルを利用してミーティングなどで注意点を共有して支援に繋げている。 ・利用者様に合わせて介助等を行っている事。 ・常に体調の変化に気をかけ変化があれば主治医に報告・対応をし、申し送っている。 ・介護状況一覧表に変化があれば追記・更新できている。 ・個別申し送りの活用。変更や情報共有したほうが良い事は記入している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様の様子が少し変な時に全体に申し送りが出来ていない事。 ・以前の暮らしを伝える能力が低下していたり家族と疎遠の為聞き取りが出来ていない為把握が出来ていない。 ・個別申し送りファイルの確認、確認の声掛け。 ・声にならない声の言語化が難しくどう表現すれば良いのか分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・引き続き介護状況一覧表は変化があった際、ケアマネが記入するようにする。 ・個別申し送りファイルを各々が確認するよう声掛けを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	1 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きホーム周辺の行事に参加するようにし活用できるよう参加の幅を広げていく。 家族様に自宅での様子をお聞きし記録に残し、家族様の気持ち等も把握していけるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 盆踊りや敬老会等の地域の行事に参加をすることができた。 送迎時や電話等で自宅での様子をお聞きし、また家族様のお気持ちも把握していけるよう努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	2	7	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	2	3	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	3	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	2	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 通い・訪問時生活スタイルに寄り添えている。 地域交流会（そうめん流し・夕涼み）を開催したり、地域の盆踊り大会、敬老会への参加を通して繋がりを継続している。 家族様在宅時に様子の伺い 利用者様に何かあればすぐに状況をご家族様に伝えられるようにしている。利用者様の過ごされ方や人間関係においては資料を参考にはしている。記録にも残すようにしている。 家族様の気持ちも把握する用努め、本人様の暮らしに必要な物は何かある程度理解している。 家族と連絡をとりながら利用者様の支援を行えている。 自宅での様子、過ごし方を本人・家族に確認している。 特定の人の民生委員は把握している。 行事には地域のボランティアや学生が参加し、利用者様と一緒に取り組んでいる。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> (事業所が接していない時間) ご近所様に挨拶程度で終わる事が多い。どこまで話しかければいいのか分からない。 全ての利用者様の地域との関係や繋がりには関わることができていない。(認知度・身体能力等で) ご本人の暮らしに必要な民生委員や地域資源の把握は出来ておらず、どのように活用してよいのかわからない。 本人様とご家族等の関係が切れないようにしているかと言えば担当の利用者様については目を向けているがその他の方についてはおろそかになっているように思われる。 地域資源についてどう把握していけばいいのかまた、把握への時間が取れずできていない。 本人様の情報が少なく、必要な民生委員、地域資源の把握できていない。 サービスを利用するほとんどが同一建物に住居を置いている為地域資源も同じものになってしまう為一部の利用者様しか地域資源を活用していない点 	

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・引き続きホーム周辺の行事に参加できるよう回覧板等を利用し努めていく。
- ・家族様に自宅での様子をお聞きし記録に残し、家族様の気持ち等も把握していけるよう努める。

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	3 人	1 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して月末の評価を行っていき、定期的なミーティングを行い、振り返り次回に繋げていく。 ・地域資源について管理者から説明し、職員全員に理解して頂き、資源を使つての支援をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して月末の評価行えており、次回に繋がられている。 ・地域資源について説明が出来ておらず、職員の理解、支援できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	4	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	9	1	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	9	0	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・些細な点から気づき通い・訪問などで支援できていると思う。 ・ニーズに応じた「通い」「訪問」「宿泊」の提供により家族様の希望に応えられるよう努めている。 ・地域との関りはボランティアを受け入れ、近所の保育園の子供達とのふれ合い等を通して維持している。 ・家族様在宅時に自宅での様子・過ごし方の伺い。 ・家族と連絡を取りながら利用者様の支援を行えている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関りがなく地域資源の活用が出来ていない。 ・地域の資源について把握しきれてなく、全ての利用者様の今までの地域との繋がりは地域も様々であるため関わる事ができていない。 ・必要な民生委員・地域資源の把握が出来ておらず、一部の利用者様しか活用できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・月末評価を継続して行っていき、次回に繋がられるようにしていく。 ・地域資源について職員会の際に管理者から説明を行い職員が理解の出来る機会を作る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

6. 連携・協働

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	5 人	1 人	11 人

前回の改善計画

- ・認知症カフェを継続して開催していく。
- ・町内の回覧板等で情報を取り参加できる地域の行事を増やしていく。
- ・継続して行事の際チラシの配布を行い、地域の方に来て頂けるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・場所が得られない、時間に余裕がない為認知症カフェを一度は行ったものの継続が出来ていない。
- ・行事の際チラシの配布、協力して積極的に行っている。
- ・8月より町内会のサロンに2ヵ月に1回職員が参加させて頂いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	5	3	2	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	3	2	6	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	5	2	4	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	4	5	2	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の保育園と年二回交流を持ち生活の活力を活かせるような取り組みが出来ている。
- ・地域のお祭り見学等参加できていると思う。
- ・利用者様の状態によって、訪問看護・福祉用具を組み合わせている
- ・毎年決まった町内の行事への参加
- ・参加できる際は自治体の会議に参加している

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・サービス機関とのカンファレンスはケアマネが行っている為、その他の職員が会議に参加する機会が無い。
- ・地域とのコミュニケーション不足の為、地域住民が事業所を訪れる事はあまりない。
- ・公民館で開かれるものへの参加はあまりできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・継続して町内の回覧板等で情報を取り参加できる地域の行事を増やしていき参加していく。
- ・行事の際はチラシの配布を行い地域の方に事業所に来て頂ける機会作りを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

7. 運営

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	3 人	1 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し地域の方への挨拶をしていき交流を持ち地域に必要とされる拠点作りを行っていく。 ・家族様と積極的にコミュニケーションを取るようになりいき意見・苦情が言いやすい関係作りに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や散歩などで外に出る際は、地域の方に会った際挨拶するようにしている。 ・苦情の都度改善策を決め職員間の申し送りでも周知している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	8	1	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	2	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	4	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	6	3	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情、(家族様の要望含む) ご意見など日報・個別申し送りに対応等記入できている。 ・日々のミーティング・職員会で意見交換が充分行われている。また、委員会を通して各分野ごとに活動している。 ・苦情の都度改善策を決め職員間の申し送りでも周知している。送迎や散歩などで外に出る際は、地域の方に会った際挨拶するようにしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関りについて関りも一部になっており広げづらい。 ・一般職員が利用者様以外の地域の方と関わる機会が少なく地域の困りごとに気付いたり一緒に考える機会は少ない。 ・地域との協働については、行事への参加が時々できている程度で一緒に取り組んでいるものはまだない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場にて地域の方々に困りごと等の意見を聞き職員会で一般職員も考えれる機会を持つようにする。 ・継続し地域の方への挨拶をしていき交流を持ち地域に必要とされる拠点作りを行っていく。 ・来所時・電話連絡時等、家族様と積極的にコミュニケーションを取るようになりいき意見・苦情が言いやすい関係作りに努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

8. 質を向上するための取組み

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画	
	・継続して一か月後の再確認を行っていく。 ・ヒヤリハットが報告しやすいように様式の見直し。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・ホワイトボードに書くようにし、継続して一か月後の再確認を行うことができた。 ・時間の余裕がなく様式の見直しは出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	5	1	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2	6	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	2	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	2	3	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・職場内でも勉強会が開かれたり職場外でもどのような研修があるか分かるよう掲示板に案内されている。 ・事故報告書、ヒヤリハットは 3 日間の読み上げをし、共有している。また、一か月後には見直しを行っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・職場で勉強会があるが勤務などの為あまり参加できない。 ・事故報告書は出ているがヒヤリハットは 1/3 も出していない。 ・地域連絡会へは主に管理者が参加をしている為他職員はあまり参加できていない。 ・日程の調整が難しくスキルアップや資格取得の為の研修へはあまり参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・継続して事故報告書の一か月後の再確認を行っていく ・管理者以外の職員へも地域連絡会に参加できるようにしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月～11 月

9. 人権・プライバシー

メンバー 宇都宮・宮川・宮田・渡邊・山下・大野・浅田・高橋・馬越・横山・泉田・河本・岩崎・土井・相原・佐伯・鳥生

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	6 人	2 人	1 人	11 人

前回の改善計画

- ・成年後見制度について年間の勉強会の計画に入れるようにする。
- ・身体拘束について、勉強会の際に普段のケアを見直す機会を設け、普段の対応が虐待に繋がっていないか考えるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・成年後見制度について勉強会の計画に入れることができなかったが、別に社会福祉協議会の職員の方に来て頂き講義を行った
- ・身体拘束については勉強会を通して日々の振り返りを行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6	5	0	0	11
②	虐待は行われていない	8	2	1	0	11
③	プライバシーが守られている	2	9	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	3	3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	9	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束や虐待の勉強会をし、内容を把握し発生を予防している。
- ・プライバシーについては各場面で配慮しケアに当たっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・適正な個人情報とはどこまでなのかと思う時があり詳しく明記して欲しい。
- ・成年後見制度について一部の職員しか勉強会に参加できずしっかりと理解できていない。また、活用もできていない。
- ・業務優先になっている面がありプライバシーへの配慮が欠けている時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・成年後見制度について年間の勉強会の計画に入れるようにし職員が理解できる機会を作る。
- ・身体拘束について、勉強会の際に普段のケアを見直す機会を設け、普段の対応が虐待に繋がっていないか考えるようにする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ヨシケンコーポレーション	代表者	代表取締役 河本 英樹	法人・ 事業所 の特徴	グループホームいしい・デイサービスいしい 小規模多機能ホームいしい・住宅型有料老人ホームいしい 法人理念：「3つの心」初心を忘れない・素直な心・思いやりの心 小規模多機能ホームいしい理念： なじみの生活をいつまでも。ともに出来ることを支えあい歩みます。
事業所名	小規模多機能ホーム いしい	管理者	宇都宮 孝文		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	5人	人	1人	1人	3人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議の際に小規模多機能型居宅介護、サービス評価について説明をし、職員の配置人員、現在取り組んでいる事についても分かりやすく説明をするようにします。	10月の運営推進会議の際に小規模多機能型居宅介護、サービス評価について説明させて頂いた。職員の配置人員現在の取り組みについて分かりやすく説明することができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていない点も良く分かっているので次の改善につないでいけると思う。 ・業務上難しかったという意見が多い。 	今回気付いた「できていないこと」のうち、すぐにできるところから順次取り組み、「できているところの確認」を続けます。運営推進会議において振り返りを行い地域の方と一緒に考えていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	現状を維持しつつ季節に合わせた飾り付け等変化をつけていく。 来客時すぐに対応ができるように自動ドアが開いた際職員が気づけるようにします。 引き続き利用者会議の際にご利用者様に施設の環境面についても意見をお聞きしていきます。	利用者様の意見をお聞きし季節に合わせた飾り作りを行い飾り付けをしていきました。 自動ドアに鈴を付け来客に気付けるようにしました。その結果すぐに対応できる事が多くなりました。	<ul style="list-style-type: none"> ・外見はあまり入りやすい雰囲気ではないと思う。(毎月の行事予定を貼り出したり、介護の相談が出来る事をアピールしている施設もあるがそのような事はしないのですか?) ・マンネリ化せず利用者と一緒に明るい環境を作っていって欲しい。 	玄関前に毎月の行事予定等を貼り出し家族様や地域の方が気軽に入りやすい雰囲気づくりに努めます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事への参加を引き続き積極的に行い、地域の皆様に顔を覚えて頂けるようにしていきます。 運営推進会議の中で、地域の行事に参加した時の様子も報告するようにしていきます。	利用者様と一緒に地域の行事へ積極的に参加をし、運営推進会議の中で報告する事も出来ました。また、町内会の地域サロンにも参加をさせて頂き介護予防の体操等をさせて頂きました。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会役員、婦人会(椿会)、子供会、白山会(老人クラブ)にも運営推進会議のテーマに応じて参加して頂いたら。 ・小規模多機能の強みをもっと出して地域の人の力になって欲しい。 	民生委員以外の地域の方々にも運営推進会議について説明をさせて頂き多くの人に参加して頂けるよう呼び掛けていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様の担当民生委員さんとの協力体制(利用者様の安否確認等)を作り、地域との関りを増やしていけるようにします。	一部の利用者様の担当の民生委員さんとは協力体制を築くことができていますが、担当民生委員の把握が出来ていない方もいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の方々も入所の方、通所の方々に対応するだけで体力的にも限界だと思えます。まだまだ地域に出向いて行けるだけの余裕はないと思うし現状では難しいと思う。 ・前回の改善計画について、民生委員は独居申請をしている高齢者の安否確 	利用者様の「～したい」を掘り下げ、一つでも多くの地域活動への参加を図る。その為の、情報収集をしっかりと行っていく。

			認をしており、利用者様の安否確認をしているわけではありません。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	引き続き年に1度は小規模多機能型居宅介護事業がどのようなサービスを提供でき、どのような理念で、どのような取り組みを行っているのかを説明していくようにいたします。	10月の運営推進会議の際に小規模多機能型居宅事業所についての説明をさせて頂いた。	・町内会役員や地域の高齢者に詳しい老人クラブ（白山会）の代表者等にも運営推進会議に参加して頂いたら地域との関りも深まると思う。様々な意見を出してもらえるかもしれない。	民生委員の方以外にも地域の方々にお声がけをさせて頂き運営推進会議のメンバーが増えるように努めていきます。また、できるだけ職員も参加できる体制を作り事業所の状況や地域の情報などを少しでも多くの方と共有できるようにします。
F. 事業所の 防災・災害対策	防災計画について運営推進会議の場で説明を行います。 ご案内をし、具体的な内容を説明したのち、運営推進会議のなかで施設の防災訓練に参加していただき振り返りの場を地域の方々と持てるようにします。	4月の運営推進会議の際に防災計画についての説明をさせて頂いた。 施設の防災訓練への参加については日程が合わず運営推進会議の中で行うことができなかった。	・地域の方々の協力を得る為に町内の役員会等に時々でも出席し災害時の協力をお願いするような取り組みをしてはどうかと思います。 ・地域の防災士や災害対策に識見の高い人に運営推進会議に参加して頂いたら適切なアドバイスが得られるのでは。	防災訓練を運営推進会議の中で行えるように年間の行事計画に入れ実行できるようにします。 地域の防災士や災害対策に識見の高い方に参加して頂きアドバイスを頂けるようにします。